

全国での活躍を誓う

東海中学総体に出場する中学生らが8月6日、市役所を訪れ、澤入副市長に抱負を述べました。陸上競技、体操、バレーボール、ソフトテニスのそれぞれの種目で、御前崎中学校から2人、浜岡中学校から14人が大会に臨みました。



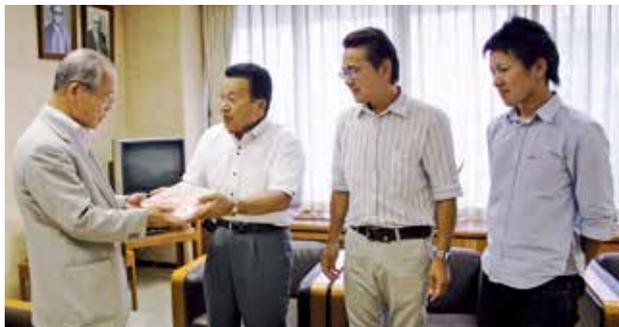
大会での健闘を報告

県大会の剣道団体で男子が32年ぶりの優勝、東海中学総体の剣道団体で初優勝し全国大会に出場、同じく女子が東海大会の剣道団体で3位となった御前崎中学校剣道部は8月13日に市役所を訪れ、石原市長に喜びと決意を語りました。



独自の循環型農業に名誉賞

第63回全国農業コンクールで名誉賞(農林水産大臣賞)に輝いた鈴木一良さん(下朝比奈)が8月12日、市役所を訪れ、石原市長に受賞の報告をしました。鈴木さんは「飼育規模を拡大し、国際競争力を高め、食でみんなを元気にしたい」と語りました。



生活の中にある放射線を学ぶ

市内の小学生とその保護者ら40人が8月6日、発電所施設等見学会に参加しました。参加者らは、水力発電や原子力発電のしくみを学び、県環境放射線監視センターでは身の回りの放射線を測定するなどして、身近にある自然放射線について学びました。



初収穫を市長に報告

社会福祉法人Mネット東遠の水野洋一理事長が8月21日、作業所で5年前から栽培を始めたドラゴンフルーツの初収穫を石原市長へ報告しました。水野さんは「収穫時に作業所と市民が触れ合う機会を作っていきたい」と、展望を語りました。



農業経営の未来を考える

市内のさまざまな分野の農業関係者と農政関係者が集まり、今後の農業政策について話し合う「御前崎市農政勉強会」が8月21日に開催され、販売促進への取り組みをテーマに、現地視察や石原市長との活発な意見交換が行われました。

